

## アクリル人造大理石の主力工場・千葉工場に プロ向け研修施設「千葉テクニカルセンター」開設

システムキッチン・バスを中心とした住宅設備機器メーカー・タカラスタンダード株式会社（本社：大阪市城東区、代表取締役社長：渡辺岳夫）は、2019年10月に、代理店・販売店さまや建築・リフォーム業者さま、施工店さま向けの工場見学時の研修施設「テクニカルセンター」を千葉工場（千葉県八千代市）に開設しました。



(外観)



(完成商品の展示)



(レクチャールーム)

タカラスタンダードは、全国に18カ所の工場（関係会社含む）を有しており、原料を自社内で調達するなど、原料から完成品まで一貫した生産体制を築いています。その製造工程を「見て、納得」していただくため、独自のノウハウでホーロー加工を行う福岡工場や名古屋工場、耐震・ぴったりサイズシステムバスの製造を行う三島工場や新潟工場などで積極的に得意先の皆さま向けに工場見学を実施しており、その数は年間で約4500人におよびます。そして工場見学後に、完成品やショールームでは見られない製品の構造などが見られる「テクニカルセンター」を新潟工場、三島工場、福岡工場、の3カ所に設置しており、この度アクリル人造大理石・樹脂製品の主力工場である千葉工場にも「千葉テクニカルセンター」を設置する運びとなりました。

千葉工場では、業界トップクラスの品質を誇る《ピュアアクリル100%》の人造大理石の浴槽やシステムキッチン・洗面化粧台の天板、シンクなどを製造しています。当社独自の高品質ピュアアクリルは、硬くて傷に強いだけでなく、耐候性やメンテナンス性にも優れているという特徴があります。「千葉テクニカルセンター」では、工場の製造現場を見学していただいた後に、完成商品や素材比較・製造工程についての説明を行い、優れた素材特性を学んでいただきます。また、併設されたレクチャールームにおいて商品研修などを行うことで、商品への理解をさらに深めていただき、お客さまへの提案の一助にさせていただくことができます。今後は、「テクニカルセンター」の活用により、お得意先の皆さまに当社の商品をより理解していただき、お客様への提案力向上の学びの場を強化してまいります。

タカラスタンダードはこれからも顧客満足度の高い商品と、お得意先さまの顧客への提案力の向上の場を提供し、顧客獲得を図るのみならず、業界の発展に貢献してまいります。

### <タカラスタンダードとは>

1912年創業。『ずっと「愛せる」というあわせ。』をブランドコンセプトに、独自の「高品位ホーロー」技術を活かしたシステムキッチン・バスを中心とした住宅設備機器を製造販売。より高度化、多様化、複合化するお客さまのニーズにお応えするホーロー技術のリーディングカンパニーとして、また住宅設備機器のトップメーカーとして、次世代を担う新たなホーローの可能性を追求し、快適な暮らしの創造を目指しています。

[設立：1912年5月30日（創業107年） / 売上高（連結）1,932億円（2018年度） / 従業員数（連結）6,186名]